

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公表番号】特表2006-519827(P2006-519827A)

【公表日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2006-505955(P2006-505955)

【国際特許分類】

C 0 7 D 237/32 (2006.01)

C 0 7 D 403/10 (2006.01)

C 0 7 D 417/14 (2006.01)

C 0 7 D 401/14 (2006.01)

C 0 7 D 403/14 (2006.01)

C 0 7 D 401/10 (2006.01)

C 0 7 D 413/14 (2006.01)

C 0 7 D 487/20 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

C 0 7 D 491/056 (2006.01)

C 0 7 D 409/14 (2006.01)

C 0 7 D 403/12 (2006.01)

C 0 7 D 413/12 (2006.01)

C 0 7 D 495/04 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/502 (2006.01)

A 6 1 K 31/551 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 31/438 (2006.01)

A 6 1 K 31/4355 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 237/32 C S P

C 0 7 D 403/10

C 0 7 D 417/14

C 0 7 D 401/14

C 0 7 D 403/14

C 0 7 D 401/10

C 0 7 D 413/14

C 0 7 D 487/20

C 0 7 D 417/12
 C 0 7 D 405/12
 C 0 7 D 409/12
 C 0 7 D 491/056
 C 0 7 D 409/14
 C 0 7 D 403/12
 C 0 7 D 413/12
 C 0 7 D 495/04 1 0 3
 C 0 7 D 401/12
 A 6 1 K 31/502
 A 6 1 K 31/551
 A 6 1 K 31/496
 A 6 1 K 31/506
 A 6 1 K 31/438
 A 6 1 K 31/4355
 A 6 1 K 31/5377
 A 6 1 P 43/00 1 2 3
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 13/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月5日(2007.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

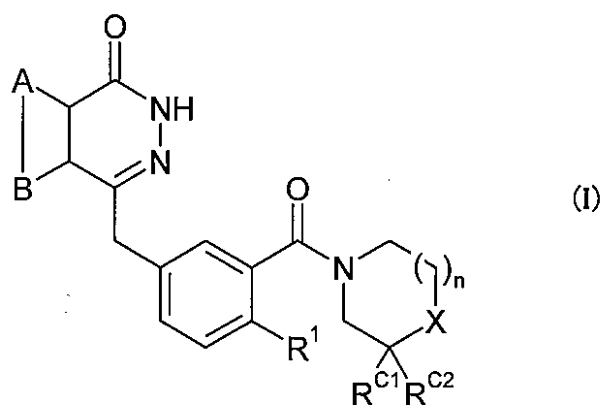
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の化合物、ならびにその異性体、塩および溶媒和化合物：

【化1】



(式中、

AとBは一緒になって、場合によっては置換されていてもよい縮合芳香環を表し、

Xは、 NR^X または CR^XR^Y とすることができ、

$\text{X}=\text{NR}^X$ である場合にはnは1または2であり、 $\text{X}=\text{CR}^X\text{R}^Y$ である場合にはnは1であり、

R^X は、H、場合によっては置換されていてもよい C_{1-20} アルキル、 C_{5-20} アリール、 C_{3-20} ヘテロシクリル、アミド、チオアミド、エステル、アシルおよびスルホニル基からなる群から選択され、

R^Y は、H、ヒドロキシ、アミノから選択され、

あるいは R^X と R^Y は一緒になって、スピロ- C_{3-7} シクロアルキルまたはヘテロシクリル基を形成することができ、

$\text{R}^{\text{C}1}$ および $\text{R}^{\text{C}2}$ はともに水素であり、またはXが CR^XR^Y であるときには、 $\text{R}^{\text{C}1}$ 、 $\text{R}^{\text{C}2}$ 、 R^X および R^Y は、それらが結合している炭素原子と一緒にあって、場合によっては置換されていてもよい縮合芳香環を形成することができ、

R^1 は、Hおよびハロから選択される)。

【請求項2】

-A-B-で表される前記縮合芳香環が炭素環原子のみからなる、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

-A-B-で表される前記縮合芳香環がベンゼンである、請求項2に記載の化合物。

【請求項4】

R^1 が、H、ClおよびFから選択される、請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項5】

$\text{R}^{\text{C}1}$ および $\text{R}^{\text{C}2}$ がともに水素である、請求項1から4のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項6】

nが2であり、Xが NR^X であり、 R^X が、H;場合によっては置換されていてもよい C_{1-20} アルキル;場合によっては置換されていてもよい C_{5-20} アリール;場合によっては置換されていてもよいエステル基;場合によっては置換されていてもよいアシル基;場合によっては置換されていてもよいアミド基;場合によっては置換されていてもよいチオアミド基;および場合によっては置換されていてもよいスルホニル基からなる群から選択される、請求項1から5のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項7】

nが1であり、Xが NR^X であり、 R^X が、H;場合によっては置換されていてもよい C_{1-20} アルキル;場合によっては置換されていてもよい C_{5-20} アリール;場合によっては置換されていてもよいアシル;場合によっては置換されていてもよいスルホニル;場合によっては置換されていてもよいアミド;および場合によっては置換されていてもよいチオアミド基からなる群から選択される、請求項1から5のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項8】

nが1であり、Xが CR^XR^Y であり、 R^Y がHであり、 R^X が、H;場合によっては置換されていてもよい C_{1-20} アルキル;場合によっては置換されていてもよい C_{5-20} アリール;場合によっては置換されていてもよい C_{3-20} ヘテロシクリル;場合によっては置換されていてもよいアシル;場合によっては置換されていてもよいアミド;および場合によっては置換されていてもよいエステル基からなる群から選択される、請求項1から5のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項9】

請求項1から8のいずれか一項に記載の化合物および薬剤として許容される担体または希釈剤を含む薬剤組成物。

【請求項10】

ヒトまたは動物の体の治療方法に使用される、請求項1から8のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項11】

PARPの活性を阻害する医薬品の調製における、請求項1から8のいずれか一項に記載の化合物の使用。

【請求項 1 2】

血管疾患;敗血症ショック;虚血性傷害;神経毒性;出血性ショック;ウイルス感染;または PARPの活性を阻害することによって寛解される疾患を治療するための医薬品の調製における、請求項1から8のいずれか一項に記載の化合物の使用。

【請求項 1 3】

癌治療において補助剤として使用するための、あるいは電離放射線または化学療法剤による治療のための腫瘍細胞の増強のための、医薬品の製造における、請求項1から8のいずれか一項に記載の化合物の使用。

【請求項 1 4】

個体における癌の治療に使用される医薬品の製造における、請求項1から8に記載の化合物の使用であって、前記癌は、HRによるDNA DSB修復経路が欠損している使用。

【請求項 1 5】

前記癌が、HRによるDNA DSB修復能力が正常細胞よりも低下または阻害された1個または複数の癌細胞を含む、請求項14に記載の使用。

【請求項 1 6】

前記癌細胞がBRCA1またはBRCA2を欠いた表現型を有する、請求項15に記載の使用。

【請求項 1 7】

前記癌細胞がBRCA1またはBRCA2を欠いている、請求項16に記載の使用。

【請求項 1 8】

前記個体が、HRによるDNA DSB修復経路の成分をコードする遺伝子における突然変異に関して異型接合性である、請求項14から17のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 1 9】

前記個体が、BRCA1および/またはBRCA2における突然変異に関して異型接合性である、請求項18に記載の使用。

【請求項 2 0】

前記癌が乳癌、卵巣癌、膵臓癌または前立腺癌である、請求項14から19のいずれか一項に記載の使用。

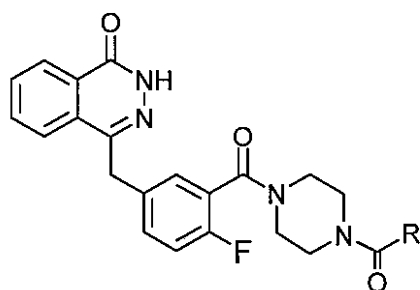
【請求項 2 1】

前記治療が、電離放射線または化学療法剤の投与をさらに含む、請求項14から20のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 2 2】

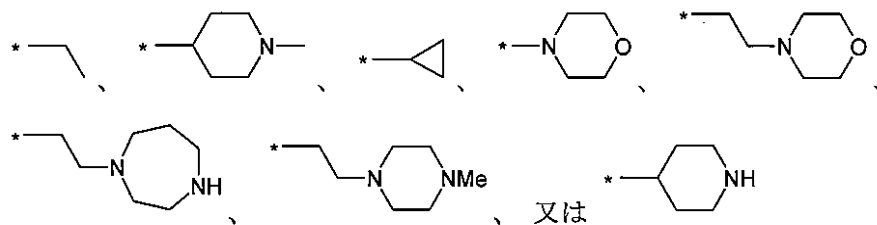
式

【化 2】



(式中、Rは

【化 3】

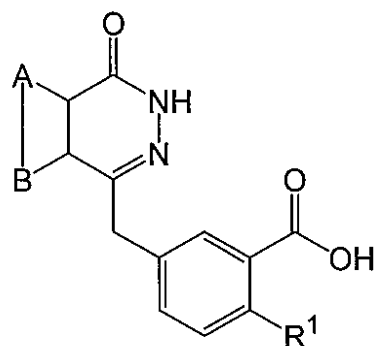


である)で表される化合物。

【請求項 2 3】

式1で表される化合物：

【化 4】



式 1

(式中、

AとBは一緒になって、場合によっては置換されていてもよい縮合芳香環を表し、
R¹は、Hおよびハロゲンから選択される)。